

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】平成21年6月18日(2009.6.18)

【公表番号】特表2008-539040(P2008-539040A)

【公表日】平成20年11月13日(2008.11.13)

【年通号数】公開・登録公報2008-045

【出願番号】特願2008-509164(P2008-509164)

【国際特許分類】

A 6 1 N 1/362 (2006.01)

【F I】

A 6 1 N 1/362

【手続補正書】

【提出日】平成21年4月27日(2009.4.27)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

心臓デバイスであって、

心臓電極を含み、一心周期中にペースングパルスを送出した後に心電図信号をそれぞれ感知するように構成された感知回路と、

前記感知回路に結合され、前記心電図信号の特性に基づいて左心腔捕捉のみ、右心腔捕捉のみ及び両心腔捕捉のうちの少なくとも2つを区別するように構成されたプロセッサと、

を含む、心臓デバイス。

【請求項2】

心臓デバイスであって、

心臓電極を含み、一心周期中にペースングパルスを送出した後に心電図信号をそれぞれ感知するように構成された感知回路と、

前記感知回路に結合され、前記心電図信号の特性に基づいて左心腔捕捉のみ、右心腔捕捉のみ及び両心腔捕捉を区別するように構成されたプロセッサと、

を含む、心臓デバイス。

【請求項3】

心臓デバイスであって、

心臓電極を含み、一心周期中にペースングパルスを送出した後に心電図信号をそれぞれ感知するように構成され、且つ、更なる心電図信号を感知するように構成された感知回路と、

該感知回路に結合され、且つ、前記心電図信号の特性に基づいて左心腔捕捉のみ、右心腔捕捉のみ及び両心腔捕捉のうちの少なくとも2つを区別するように構成されたプロセッサとを有し、このプロセッサは、前記心電図信号の特性に基づいて左心腔捕捉のみ、右心腔捕捉のみ及び両心腔捕捉のうちの少なくとも2つを区別するように構成されている、

心臓デバイス。

【請求項4】

前記感知回路は、左心腔の血管内及び右心腔に一されるようになっており、また、感知回路は、左心腔電極及び右心腔電極を用いて心電信号を感知するように構成されている、

請求項1～3のいずれか1項に記載の心臓デバイス。

【請求項 5】

前記プロセッサが、前記心電図信号を 1 つ以上のテンプレートと比較するように構成されており、各テンプレートが左心腔捕捉、右心腔捕捉及び両心腔捕捉のうち少なくとも 1 つに関連する、請求項 1 ～ 4 のいずれ 1 項に記載の心臓デバイス。

【請求項 6】

各テンプレートが、左心腔捕捉、右心腔捕捉又は両心腔捕捉の状態において予期される前記心電図信号の特性に関連する 1 つ以上の検出ウィンドウを含む、請求項 5 に記載の心臓デバイス。